Ａ－１　「総合的な学習の時間」の全体構想図

主　題

「生きる力」を身につけた生徒の育成をめざして

― 地域との連携を通して ―

校訓

学校教育目標　教育の今日的課題　生徒の実態　地域の実態

めざす生徒像

S 自ら課題を見つけ，課題解決に向けての体験的な活動や探究活動ができる生徒
H 人とのかかわりの中で，他と協調・連携し他を思いやる心を持った生徒
I 自己の生き方について考え，主体的，創造的に生きていく力を身につけた生徒
O 情報を分析し，自分の考えをまとめ，発表できる生徒

目標

① 自らの課題を見つけ,目的意識をもって体験的な学習や探究活動に取り組み，主体的に課題を解決しようとする意欲や考え方を養う。
② 人とのかかわりの中で，他と協調・連携し，他を思いやり，助け合って生きようとする心を養う。
③ 自己と社会や自己と他との関わりから，自己の生き方を考え，主体的，創造的に生きていく力を養う。
④ 得られる情報を分析し，必要な情報を活用し，自分の考えをまとめ，表現できる力を養う。

第１学年のテーマ	第２学年のテーマ	第３学年のテーマ

※各学年テーマはＢ－１参照

視　点

★「総合的な学習の時間」のカリキュラム開発
- ○ テーマ設定
- ○ ３年間の系統図の見直し
- ○ 年間活動計画の作成
- ○ 教科との関連

★ 地域との連携
- ○ 地域人材の発掘と活用
- ○ 地域教材の開発

★「総合的な学習の時間」の評価の工夫
- ○評価方法の工夫
  - ・評価の観点の設定
  - ・評価規準の作成
  - ・「志雄タイムノート」の活用

教　科

［必修］
○基礎・基本の習得
○課題解決能力の育成
　　â
　・体験的な活動
○評価の工夫
［選択］
○課題解決能力の育成
　　â
　・習熟度別学習
　・発展的な学習
　・地域の教材・人材の活用

総合的な学習の時間

★課題発見・課題解決能力の育成
★自己の生き方の自覚
　（体験的な活動を通して）
☆主体的な学習態度の育成
☆情報収集・整理・発信能力の育成
☆総合化された知識・技能の育成
　　â
　・多様な学習活動の展開
　・学習時間の弾力的な運用
　・学習形態の多様化
　・評価の工夫
　　「志雄タイムノート」の活用

道徳・特活

［道徳］
○豊かな心の育成
○人間としての生き方の自覚
○道徳的実践力の育成

［特別活動］
○計画立案，実践的態度の育成
○評価の工夫